

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2008-59437(P2008-59437A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-237621(P2006-237621)

【国際特許分類】

G 07 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 07 D 9/00 4 2 6 B

G 07 D 9/00 4 5 6 A

G 07 D 9/00 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月2日(2011.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

貨幣を入出金する貨幣処理装置と、棒金を保管する棒金保管装置を含む貨幣処理機であつて、

前記各装置の在高を集計した在高データを管理する在高管理手段と、

前記在高データ及び残置データを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された残置データ及び前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記貨幣処理装置に入金された貨幣を出金する制御手段と、

を備えたことを特徴とする貨幣処理機。

【請求項2】

請求項1に記載の貨幣処理機であつて、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された残置データが前記在高データより小さい場合は、前記貨幣処理装置に収納された貨幣を出金することを特徴とする貨幣処理機。

【請求項3】

請求項1または2に記載の貨幣処理機であつて、

所定の情報を表示する表示部を備え、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された在高データ及び残置データ、並びに前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記表示部に表示する情報を切り替えるものであることを特徴とする貨幣処理機。

【請求項4】

請求項3に記載の貨幣処理機であつて、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された残置データが前記在高データより大きい場合には、当該残置データと当該在高データの差分を前記表示部に表示するものであることを特徴とする貨幣処理機。

【請求項5】

請求項3又は4に記載の貨幣処理機であつて、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された残置データが前記棒金保管装置の在高より小さい場合には、当該在高と当該残置データの差分を前記表示部に表示するものであるこ

とを特徴とする貨幣処理機。

【請求項 6】

請求項 1～5のいずれか1項に記載の貨幣処理機であって、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された残置データが前記棒金保管装置の在高より小さい場合は、前記貨幣処理装置に入金された貨幣の全てを出金するものであることを特徴とする貨幣処理機。

【請求項 7】

請求項 1～6のいずれか1項に記載の貨幣処理機であって、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された残置データが前記在高データより小さく、かつ、前記棒金保管装置の在高以上の場合は、前記貨幣処理装置に収納された貨幣の一部を出金するものであることを特徴とする貨幣処理機。

【請求項 8】

請求項 1～7のいずれか1項に記載の貨幣処理機はさらに、

レジスタと通信可能な通信手段を備えたことを特徴とする貨幣処理機。

【請求項 9】

請求項 1～8のいずれか1項に記載の貨幣処理機であって、

前記残置データ及び前記各装置の在高データは、貨幣の数量又は金額を示す情報であることを特徴とする貨幣処理機。

【請求項 10】

請求項 1～9のいずれか一項に記載の貨幣処理機であって、

前記貨幣処理装置が、紙幣を入出金する紙幣処理装置と、硬貨を入出金する硬貨処理装置とから構成されることを特徴とする貨幣処理機。

【請求項 11】

貨幣を入出金する貨幣処理装置および棒金を保管する棒金保管装置を含む貨幣処理機と、前記貨幣処理機に通信可能に接続されたレジスタと、を備えた貨幣処理システムであつて、

前記貨幣処理機における各装置の在高データを管理する在高管理手段と、

前記在高データ及び残置データを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された残置データ及び前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記貨幣処理装置に収納された貨幣を出金する制御手段と、

を備えたことを特徴とする貨幣処理システム。

【請求項 12】

貨幣を入出金する貨幣処理装置および棒金を保管する棒金保管装置を含む貨幣処理機に通信可能に接続されたレジスタであつて、

前記貨幣処理機における各装置の在高データを管理する在高管理手段と、

前記在高データ及び残置データを記憶する記憶手段と、

を備え、

前記記憶手段に記憶された残置データ及び前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記貨幣処理装置に収納された貨幣を出金させることを特徴とするレジスタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、貨幣を入出金する貨幣処理装置と、棒金を保管する棒金保管装置を含む貨幣処理機であつて、前記各装置の在高を集計した在高データを管理する在高管理手段と、前記在高データ及び残置データを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された残置データ及び前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記貨幣処理装置に入金された貨幣を出金する制御手段と、を備えたことを特徴とする貨幣処理機が提供される。

また、本発明によれば、貨幣を入出金する貨幣処理装置および棒金を保管する棒金保管装置を含む貨幣処理機と、前記貨幣処理機に通信可能に接続されたレジスタと、を備えた貨幣処理システムであって、前記貨幣処理機における各装置の在高データを管理する在高管理手段と、前記在高データ及び残置データを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された残置データ及び前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記貨幣処理装置に収納された貨幣を出金する制御手段と、を備えたことを特徴とする貨幣処理システムが提供される。

また、本発明によれば、貨幣を入出金する貨幣処理装置および棒金を保管する棒金保管装置を含む貨幣処理機に通信可能に接続されたレジスタであって、前記貨幣処理機における各装置の在高データを管理する在高管理手段と、前記在高データ及び残置データを記憶する記憶手段と、を備え、前記記憶手段に記憶された残置データ及び前記棒金保管装置の在高に基づいて、前記貨幣処理装置に収納された貨幣を出金させることを特徴とするレジスタが提供される。